

西部地域事業所を対象とした通勤等に関する アンケート調査結果報告

【要約】西部地域事業を対象とした通勤等に関するアンケート調査の実施

- **目的**: 西部地域の事業所の通勤交通の実態を把握し、地域公共交通サービス検討の基礎資料とする
- **被験者**: 37事業所、597人（7割が製造業、大半が従業員50人以下の中小企業）

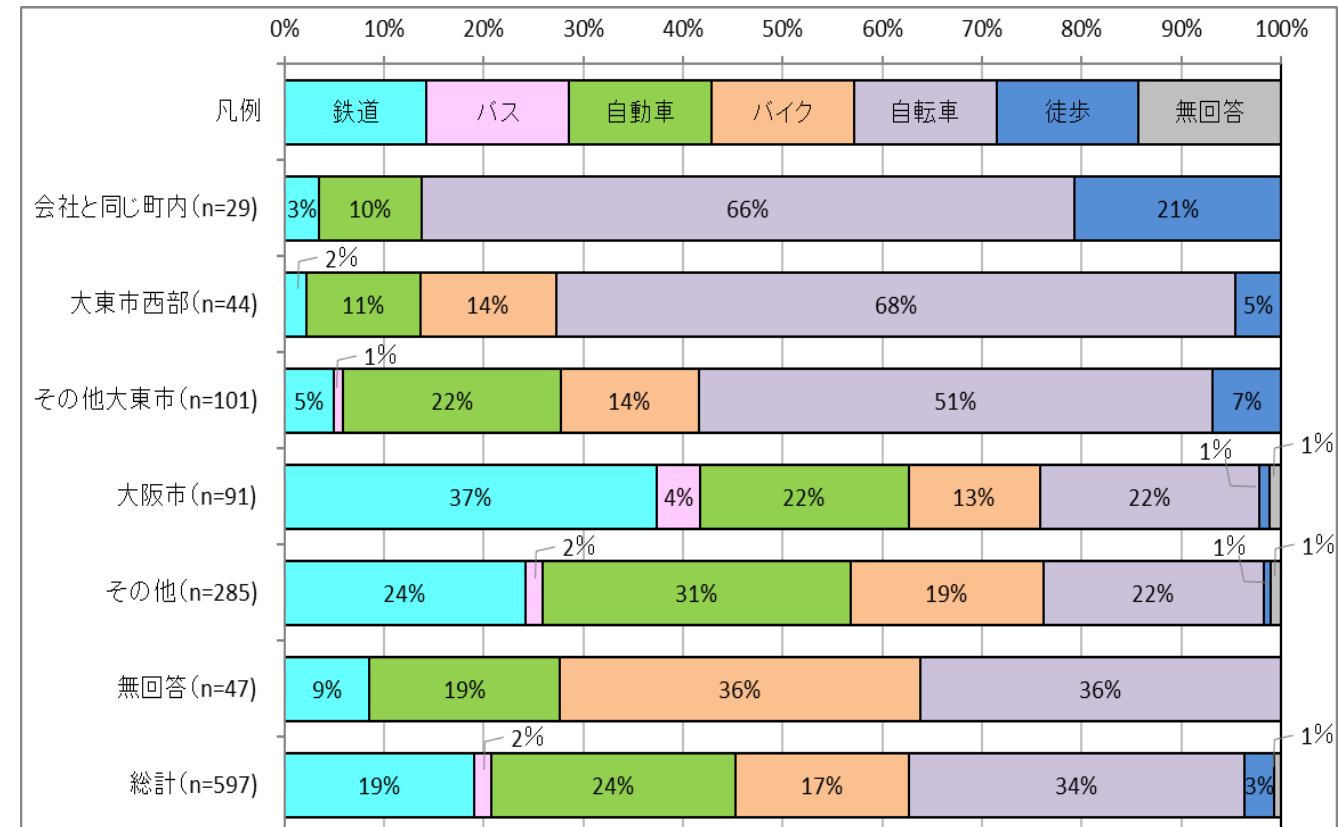
(1) 通勤交通手段の特性と課題

- ・従業員の通勤交通手段は、**自転車**が最も多く、次に**自動車**利用が多い。
- ・大東市内居住者は自転車利用、大阪市からの通勤では鉄道利用、それ以外からの通勤では自動車利用が多い。
- ・通勤に利用されている駅は、住道駅、鴻池新田駅が多く、門真南駅も少し利用がある。
- ・通勤での路線バス、コミュニティバス利用は極めて少ない。

● 課題;

- **公共交通サービス水準の向上とともに、自転車の走行環境の改善が望まれる。**

従業員の居住地別通勤交通手段構成



【要約】西部地域事業を対象とした外出等に関するアンケート調査の実施

(2) マイカー通勤に対する意識と態度

- ・事業所は、マイカー通勤に対して「**交通事故の危険がある**」「**駐車場の確保に費用がかさむ**」などの問題意識を持っている。
- ・しかし、マイカー通勤は従業員の自主性に任せられている事業所が多く、**マイカー通勤の削減には積極的ではない**状況である。
- ・さらに、マイカー通勤抑制の実施は「従業員から反対されると思う」と回答される事業所も7割に達する。

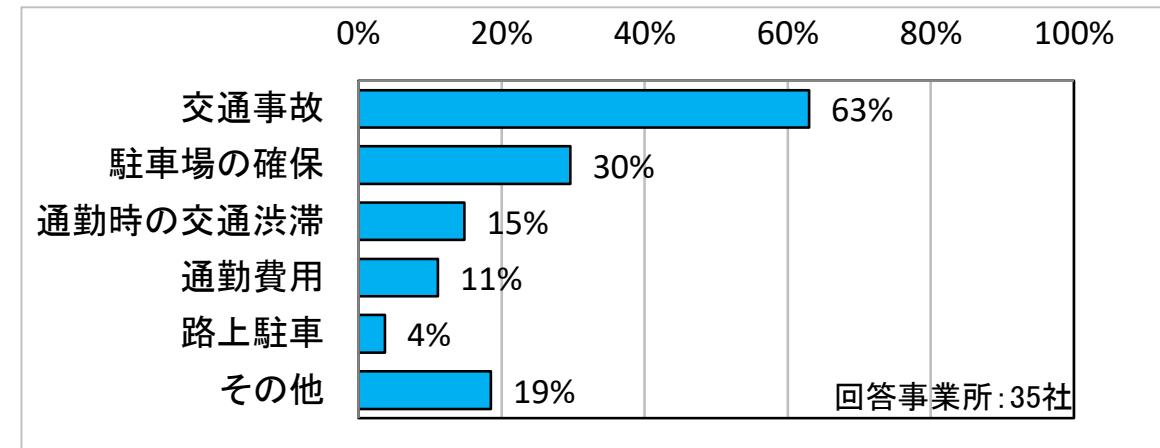
● 課題；

- ✓ **事業者への通勤環境の改善、従業員の意識・態度と行動変容を促す取り組みが必要（モビリティ・マネジメントの取り組み）**
- ✓ **事業所に対しては、安全対策・経費削減の面からの働きかけが有効**

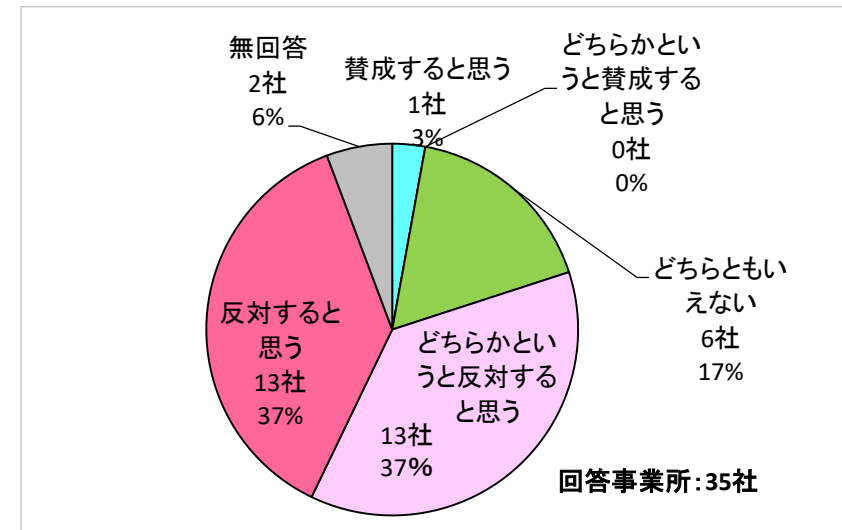
※ モビリティマネジメント

当該の地域や都市を、「過度に自動車に頼る状態」から、「公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度に（＝かしこく）利用する状態」へと少しずつ変えていく一連の取り組み

事業所の「マイカー通勤」に対する問題意識



事業所が考えるマイカー通勤抑制の従業員の反応



【要約】西部地域事業を対象とした外出等に関するアンケート調査の実施

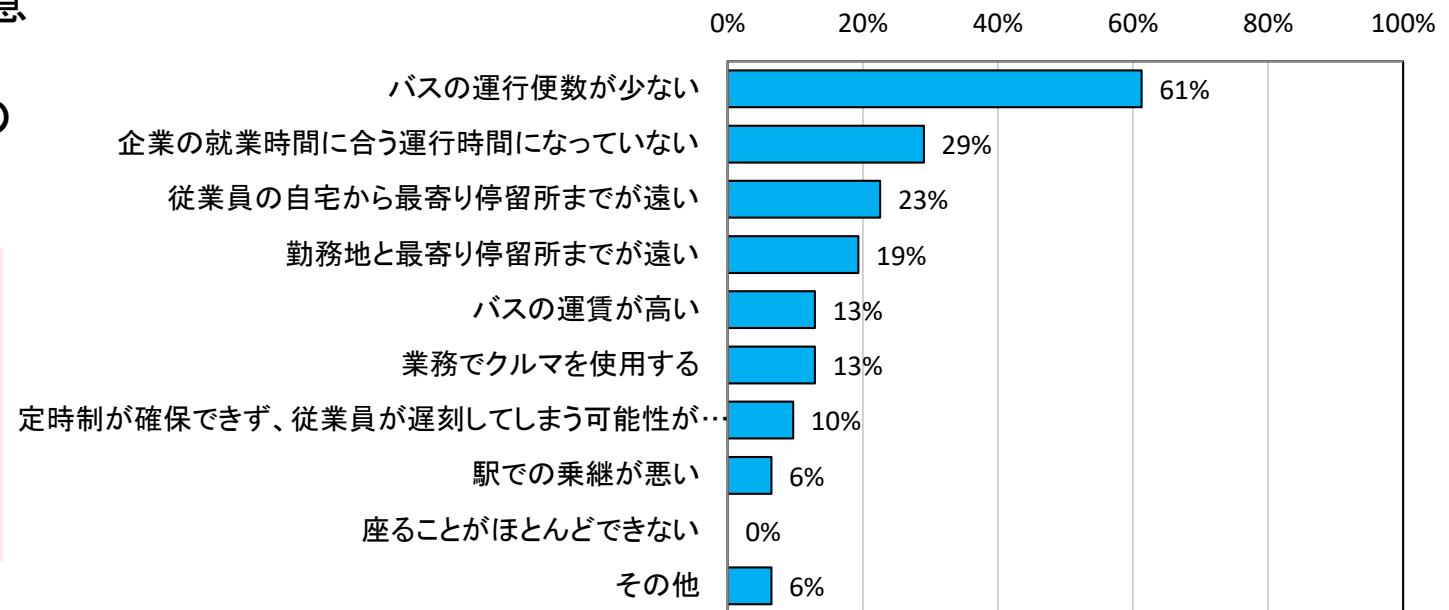
(3) 通勤交通に関する公共交通の課題

- ・コミュニティバスを通勤に利用する際の問題点としては、「バスの運行便数が少ない」が61%となり、**公共交通のサービス水準が課題**となっている。
- ・従業員アンケートでは公共交通で通勤するための条件として「自宅近くで乗り降りできる」「会社近くで乗り降りできる」が上位に挙げられており、**バスのルート設定が重要**と考えられる。
- ・事業所は、「公共交通の利便性があがれば求人情報でPRでき、人材が集まりやすい」との意見もあり、**公共交通の充実を望む声がある**。
- ・従業員からも、コミュニティバスの運行便数の増加、運行時間帯の拡大の要望が多い。

● 課題；

- **コミュニティバス西部コースの通勤利用改編の可能性検討**

事業所のコミュニティバスを通勤に利用する際の問題点



(複数回答)

【要約】西部地域事業を対象とした外出等に関するアンケート調査の実施

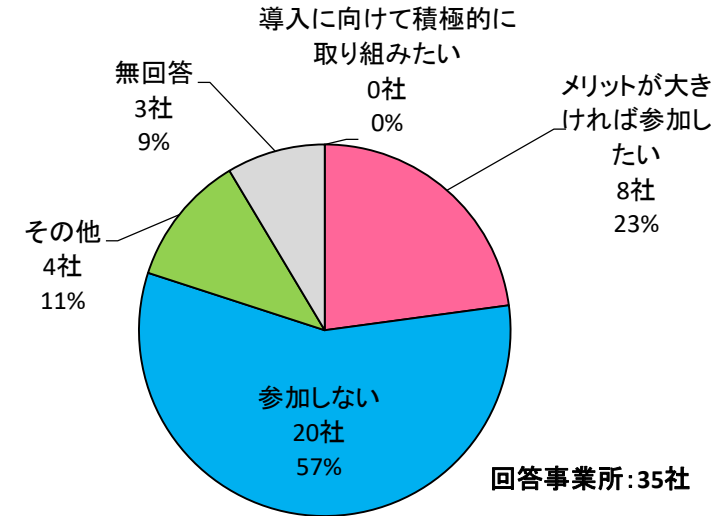
(4) 通勤送迎バスの共同運行に関する課題

- ・半数以上の20社は送迎バス共同運行に「参加しない」と回答されたが、**8社はメリットが大きければ参加したい**と回答された。
- ・**希望する発着駅は、住道駅**が8割で最も多い。
- ・共同送迎バスの運行で重視する条件としては、「会社のすぐ近くで乗り降りできる」「運行便数が多い」「運賃が安い」との回答されている。

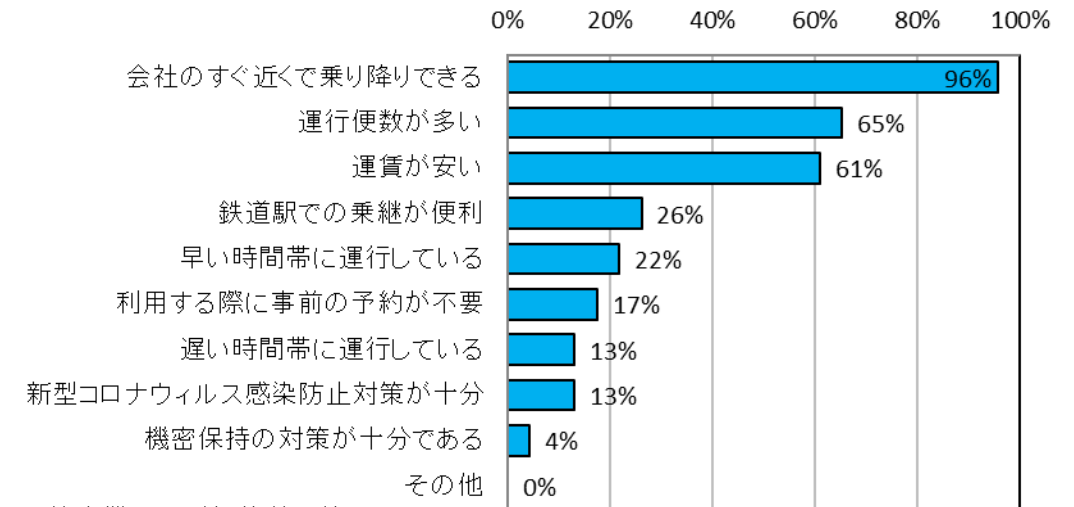
● 課題；

- **参加意向のある事業所と協働した「共同送迎バス」運行可能性の検討**

事業所の送迎バスの共同運行についての考え



事業所の送迎バスの共同運行に際して重視する条件



(複数回答) 4

< 目 次 >

1. 西部地域における事業所アンケート調査の概要
2. 事業所アンケート調査結果
3. 従業員アンケート調査結果

1. 西部地域における事業所アンケート調査の概要

(1) 調査概要

- ・産業集積エリアの公共交通不便地域に立地する代表的な事業所を対象として、**従業員の通勤と業務関連交通の実態や公共交通利用の可能性**などについてアンケート調査によって把握し、地域公共交通サービスの検討に反映させるため、事業所及びその従業員に対するアンケート調査を実施した。

(2) 調査方法

- ・大東市西部地域の事業所を対象として、**郵送または商工会議所を通して調査を依頼**
- ・郵送依頼する事業所は業種分類を考慮した上で、**85事業所をランダムに抽出**
- ・事業所アンケート送付時に従業員アンケートを同封し、事業所担当者に従業員への配布・回収を依頼

(3) 有効回答数

- ・事業所アンケート：35事業所
(参考) 西部地域に立地する事業所数：1257事業所(平成26年経済センサス - 基礎調査)
- ・従業員アンケート：597人(35事業所)

37事業所のうち「事業所アンケート調査票」の無効が2事業所

37事業所のうち「従業員アンケート調査票」の回答がない事業所が2事業所

1. 西部地域における事業所アンケート調査の概要

(4) 調査項目

①事業所アンケート（A 4，全 4 ページ）

- ・ 事業所概要（社名、連絡先、業種、従業員数）
- ・ 勤務形態（勤務時間）
- ・ 従業員の居住地
- ・ 従業員用駐車場、駐輪場の有無
- ・ 従業員の通勤状況（通勤手段）
- ・ 送迎バスの運行有無
- ・ 通勤制度（通勤手段の登録、通勤手当支給状況）
- ・ マイカー通勤に対する意識
- ・ 大東市の公共交通の問題点
- ・ 送迎バスの共同運行の可能性について
- ・ 自由意見・要望

様

大東市西部地域公共交通に関するアンケート調査票

質問 1. 貴事業所およびご記入者について教えてください。

事業所の名称			
事業所の所在地	〒 大東市		
記入者	所属：	電話：（ ）	
	氏名：	FAX：（ ）	
		E-Mail：	
業種	☐ 農林水産鉱業 ☐ 建設業 ☐ 製造業 ☐ 金融保険不動産業 ☐ 卸売小売業 ☐ 電気ガス供給水道業 ☐ 運輸業 ☐ 情報通信業 ☐ サービス業 ☐ 公務		
従業員数	正社員： 人	常勤のパート： 人	契約社員： 人

質問 2. 貴事業所についてお伺いします。

(1) 貴事業所の勤務形態・時間をお聞かせください。

勤務時間	日勤務	交代制勤務(2交代)	交代制勤務(3交代)	その他
		① : ~ :	① : ~ :	具体的に書き下す。
		② : ~ :	② : ~ :	
		③ : ~ :	③ : ~ :	

(2) 従業員の居住地をお聞かせください。(わかる範囲で結構です)

大東市西部地域	名	その他大東市内	名	大阪市	名
大阪府北部	名	大阪府南部	名	奈良県	名
京都府	名	兵庫県	名	その他	名

(3) 従業員用の駐車場はありますか？(当てはまる箇所には番号を入れて下線部に記入をお願いします)

☐ 事業所敷地内無料 (台)	
☐ 事業所敷地内有料 (台 円/月)	
☐ 事業所敷地外無料 (台)	⇒ 事業所から約 m
☐ 事業所敷地外有料 (台 円/月)	⇒ 事業所から約 m
☐ なし	※駐車場料金は事業所が支払う金額を教えてください

(4) 事業所で使用している自転車駐輪場がありますか？(当てはまる箇所には番号を入れて下線部に記入をお願いします)

☐ 事業所敷地内に駐輪場を整備している (駐輪数約 台)	
☐ 事業所敷地外の駐輪場を利用している (駐輪数約 台)	
☐ 駐輪場を整備していない	

(5) 自動車保有台数は何台ですか？リース車両も含めた台数をお聞かせください。

小型車 (乗用車・小型貨物車)	台
大型車 (ガソリン車)	台
大型車 (ディーゼル車)	台

1. 西部地域における事業所アンケート調査の概要

(4) 調査項目 ①事業所アンケート (A4, 全4ページ)

質問3. 貴事業所の「通勤」についてお伺いします。

※通勤交通手段の把握と、自転車から公共交通機関への転換の可能性を検討するためにお願いします。

(1) 従業員の主たる通勤交通手段をお聞かせください。(役員、常勤、派遣社員、パートを含む)

※複数の交通機関を利用している場合は、代表交通手段を選択してください。

代表交通手段の優先順位は、鉄道、バス、乗用車、自転車・バイク、自動車、徒歩の順になります。

交通手段	鉄道・バス	自動車	バイク	自転車	徒歩
従業員数	人	人	人	人	人

(2) 従業員のための送迎バスを運行されていますか？

☐ 従業員用送迎バスがある ⇒ 具体的にお聞かせください

運賃： ☐ 有料 () ☐ 無料

発着駅：

利用人数：約 人/日

社員以外(来訪者等)も使用できますか？ ☐ できる ☐ できない

※可能であれば送迎バスに関する資料(時刻表等)の提出をお願いします。

☐ 従業員用送迎バスはない

(3) 貴事業所の通勤に関する制度をお聞かせください。(当てはまる箇所にご記入ください)

1. 通勤手段、経路を登録	☐ している ☐ していない ☐ その他()
2. マイカー通勤を	☐ 認めている ☐ 認めていない ☐ 条件付で認めている(条件：)
3. 社用車の持ち帰りを	☐ 認めている ☐ 認めていない ☐ 条件付で認めている(条件：)

(4) 通勤手当の支給状況をお聞かせください。(当てはまる箇所にご記入ください)

通勤手段	通勤手当支給方法
鉄道・バス	☐ 全額支給している ☐ 上限を設けて支給している ☐ 支給していない ☐ その他(具体的に)
自動車・バイク	☐ 距離に応じて支給している ☐ 鉄道・バス利用の運賃相当額を支給している ☐ 支給していない ☐ その他(具体的に)
自転車・徒歩	☐ 一定額を支給している () 円/月 ☐ 鉄道・バス利用の運賃相当額を支給している ☐ 支給していない ☐ その他(具体的に)

・通勤手当支給方法で、特記すべきことがあればご記入ください。

質問4. 「マイカー通勤」についてお伺いします。

(1) マイカー通勤によって発生している問題点がありますか？(当てはまる箇所すべてにご記入ください)

☐ 通勤時に交通渋滞が発生し、従業員が遅刻する
☐ 路上駐車等により、事業所付近で交通渋滞が発生し、業務に支障をきたしている
☐ 従業員の交通事故の危険性がある
☐ 従業員のマイカー通勤に要する費用がかさむ
☐ 駐車場の確保など、従業員のマイカー通勤に要する事業所の費用がかさむ
☐ その他()

(2) マイカー通勤に対する貴事業所の対応はどれですか？(当てはまる箇所すべてにご記入ください)

☐ マイカー通勤を奨励している ☐ コロナ禍のみマイカー通勤を奨励している
☐ 通勤方法の選択は、従業員の自主性に任せている
☐ マイカー通勤の自費を呼び掛けている
☐ 原則、自動車通勤は禁止だが、条件を付けて許可している
☐ 自動車通勤を禁止している
☐ その他()

(3) 貴事業所では、マイカー通勤を削減することについて関心がありますか？(当てはまる箇所にご記入ください)

☐ とてもある ☐ 少しある ☐ どちらともいえない ☐ あまりない ☐ 全然ない

(4) 貴事業所では、今後、マイカー通勤の減少に向けての試みを実施する可能性はありますか？(当てはまる箇所にご記入ください)

☐ とてもある ☐ 少しある ☐ どちらともいえない ☐ あまりない ☐ 全然ない

(5) マイカー通勤の抑制を実施した場合、従業員はどのように感じるとお考えですか？(当てはまる箇所にご記入ください)

☐ 賛成と思う
☐ どちらかという賛成と思う
☐ どちらともいえない
☐ どちらかという反対と思う
☐ 反対と思う

(6) マイカー通勤を抑制することによって得られると思う効果はなんですか？(当てはまる箇所すべてにご記入ください)

☐ 渋滞の解消 ☐ 交通事故の減少 ☐ 遅刻の減少
☐ 経費の節減 ☐ 健康増進 ☐ 地球環境の改善
☐ 企業の社会的貢献 ☐ 企業のイメージ向上
☐ その他()

(7) グリーン経営認証を取得されていますか？(当てはまる箇所にご記入ください)

※グリーン経営認証制度とは、環境保全を目的に設けられている運輸事業者(トラック、バス、タクシー、旅客船、内航船運、国際航空、国際郵便)に対する認証制度です。

☐ 認証を取得している
☐ 認証の取得を検討している
☐ 認証を取得する予定はない
☐ 認証制度の対象となる業種ではない

質問5. 大都市の路線バス・コミュニティバスを通勤に利用する際の問題点をお聞かせください。

☐ バスの運行便数が少ない
☐ 勤務地と最寄り停留所までが遠い
☐ 従業員の自宅から最寄り停留所までが遠い
☐ 企業の就業時間に合う運行時間になっていない
☐ バスの運賃が高い
☐ 駅での乗降が悪い
☐ 定時性が確保できず、従業員が遅刻してしまう可能性がある
☐ 降ることがほとんどできない
☐ 業務でクルマを使用する
☐ その他()

質問6. 送迎バスの共同運行について、ご意見をお聞かせください。

(1) 最寄駅から従業員の通勤のアクセスを確保するために、複数の事業所が共同で送迎バスを運行する方法が考えられます。このような乗合型の送迎バスの運行方法についてどのようにお考えになりますか？(当てはまる箇所にご記入ください)

☐ 送迎バス共同運行の導入に向けて積極的に取り組みたい
☐ 経費削減等のメリットが大きければ送迎バス共同運行に参加したい
☐ 送迎バス共同運行が導入されても参加しない
 (理由：)
 その他()

(2) どのような運行形態であれば、送迎バスの共同運行に参加しようと思いますか？

乗客数はどこがいいですか？ ☐ 往道駅 ☐ 神池新田駅 ☐ 門真南駅
☐ その他()
 運行時間帯は何時がいいですか？ : ~ :

(3) 送迎バスの共同運行を検討するに際して、重視する条件はなんですか？3つまで選択してお答えください。

☐ 会社のすぐ近くで乗り降りできる ☐ 利用する際に事前の予約が不要
☐ 鉄道駅での乗降が便利 ☐ 運行便数が多い
☐ 早い時間帯に運行している ☐ 遅い時間帯に運行している ☐ 運賃が安い
☐ 機密保持の対策が十分である ☐ 新型コロナウイルス感染防止対策が十分である
☐ その他()

質問7. その他、西部地域の交通(コミュニティバス、路線バスや乗合タクシーなど)について、ご意見、ご要望があれば何でも結構ですのでお聞かせください。

以上でアンケート調査は終わります。ご協力ありがとうございました。

1. 西部地域における事業所アンケート調査の概要

(4) 調査項目

②従業員アンケート（A 4， 2 ページ）

- ・ 普段の通勤について
交通手段, 通勤頻度, 通勤時間
- ・ 通勤の満足度
- ・ 公共交通を利用した通勤の可能性
- ・ 共同送迎バスの利用意向
- ・ 自由意見・要望
- ・ 個人属性

従業員票

大東市西部地域公共交通に関するアンケート調査票

●●株式会社にお勤めのみなさま

みなさまには、日ごろから地域の様々な取り組みや行政の推進にご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございます。

大東市では、このたび「西部地域コミュニティバス」の見直しを含む地域公共交通サービスに関する検討を行うため、大東市西部地域の事業所にお勤めの皆様の、日ごろの通勤や移動に際しての実情やご意見等をお聞きする調査を実施することになりました。

みなさま方には、お忙しいところたいへんお手数をおかけしますが、調査の主旨にご理解を賜り、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

令和3年8月

大東市長 東 坂 浩 一

※この調査票は●月●日(●)までに事業所担当の方にお渡しください。

質問 1. 通勤の、主な交通手段を教えてください。(複数回答可)

☐鉄道 (口住道駅 口鴻池新田駅 口門真南駅 口京阪大和田駅 口古川橋駅

☐その他 ()

☐路線バス (口近鉄バス 口京阪バス 口大阪シティバス 口その他 ()

⇒ 会社側の最寄りのバス停を教えてください () (停留所)

☐大東市コミュニティバス (口西郷コース 口南新田明栄コース 口三郷コース 口中垣内コース)

☐大東市東部地域乗合タクシー 口送迎バス 口タクシー

☐自動車 (運転) 口自動車 (送迎) 口バイク 口自転車 口徒歩

質問 2. 通勤の頻度を教えてください。

☐月に 程度 通勤している

☐週

質問 3. 通勤時間を教えてください。主な勤務についてお答えください。

出勤時：会社に着る時間	時	分	ごろ
帰宅時：会社を出る時間	時	分	ごろ
通勤にかかる時間 (片道)	時間	分	ぐらい

質問 4. 通勤時の状況についてお聞きします。現在の通勤状況をどう感じていますか？

☐大変満足

☐ほぼ満足

☐やや不満

☐不満

不満である理由は何ですか？(複数回答可)

☐身体的負担

☐経済的負担

☐快適・安全性

☐交通手段が不便

☐その他 ()

質問 5. クルマを少しでも利用して通勤されている方にお伺いします。

どのような公共交通があれば、「鉄道」や「バス」で通勤できると思いますか？(複数回答可)

☐自宅近くで乗り降りできる

☐会社近くで乗り降りできる

☐鉄道とバスとの乗り継ぎが便利 ⇒ 利用したい鉄道路駅を教えてください () (駅)

☐運行便数が多い

☐早い時間帯に運行している

☐遅い時間帯に運行している

☐会社周辺と駅とを直通で結ぶシャトルバスがある

☐運賃が安い

☐新型コロナウイルス感染防止対策が十分である

☐その他 ()

☐鉄道やバスでは通勤できない ⇒ 理由をお聞かせください ()

質問 6. 送迎バスの共同運行についてお聞きします。

最寄駅からのアクセス利便性を向上させるために、複数の事業所が共同で送迎バスを運行する方法が考えられます。このような乗合型の送迎バスを利用する場合、重視する条件は何ですか？3つまで選択してください。

☐会社のすぐ近くで乗り降りできる

☐利用する際に事前の予約が不要

☐鉄道路駅での乗継が便利

☐運行便数が多い

☐早い時間帯に運行している

☐遅い時間帯に運行している

☐運賃が安い

☐機密保持の対策が十分である

☐新型コロナウイルス感染防止対策が十分である

☐その他 ()

質問 7. 西部地域の交通 (コミュニティバス、路線バスや乗合タクシーなど)について、ご意見、ご要望があれば何でも結構ですでお聞かせください。

質問 8. あなたのことについてお聞かせください。

(1) 居住地を教えてください。「その他」の場合は市町村までお聞かせください。

☐会社と同じ町内

☐大東市西部地域

☐その他大東市内

☐大阪市

☐その他 ()

(2) 性別を教えてください。

☐男性

☐女性

(3) 年齢を教えてください。

☐5歳～14歳

☐15歳～19歳

☐20歳～34歳

☐35歳～44歳

☐45歳～64歳

☐65歳～74歳

☐75歳以上

(4) 通勤手当は会社から支給されていますか？

☐全額支給されている

☐一部支給されている

☐支給されていない

☐その他 ()

(5) あなたの雇用形態を教えてください。

☐正社員

☐契約社員

☐パートタイマー

☐アルバイト

☐その他 ()

以上でアンケート調査は終わります。ご協力ありがとうございました。

- 2 -

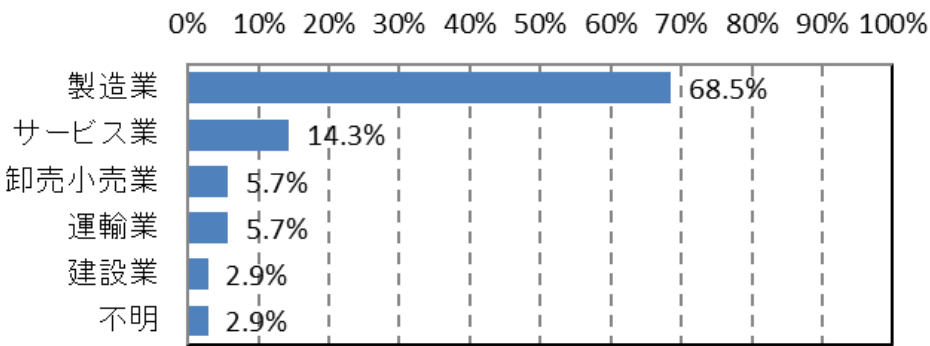
9

2. 事業所アンケート結果

(1) 事業所の概要

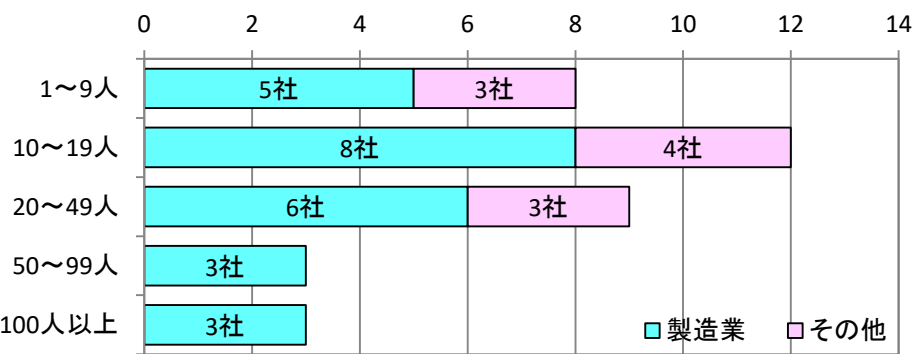
① 回答事業所の業種

・回答事業所のうち約7割が製造業



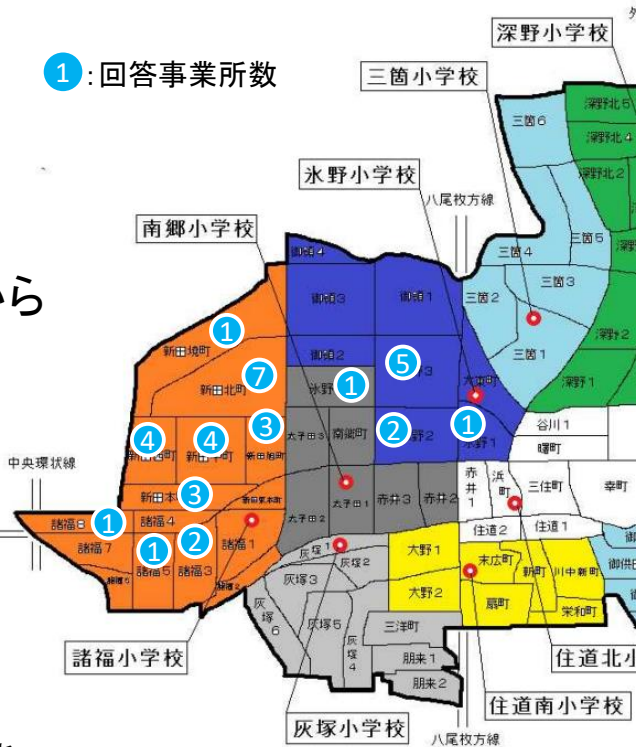
③ 従業員数

・製造業以外の業種は、従業員数50人以下の中小企業



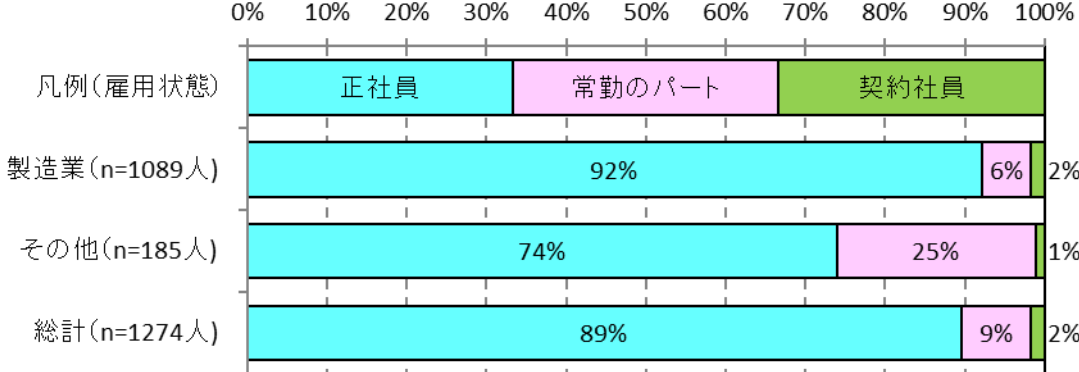
② 回答事業所の立地

・西部地域の各地域から回答を頂いた



④ 従業員の雇用状態

・製造業はほとんどが正社員に対し、その他の業種は正社員の割合が7割程度である

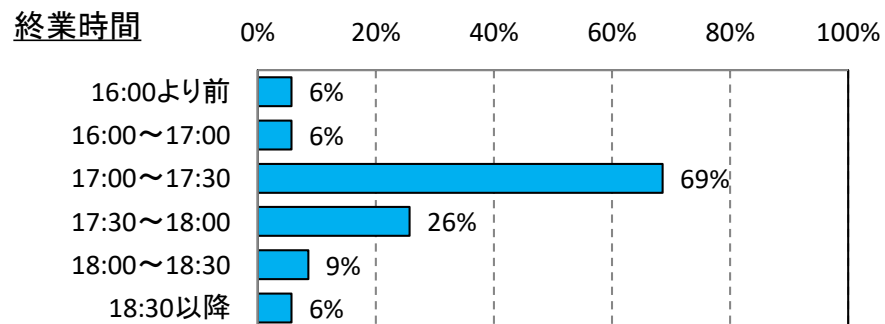
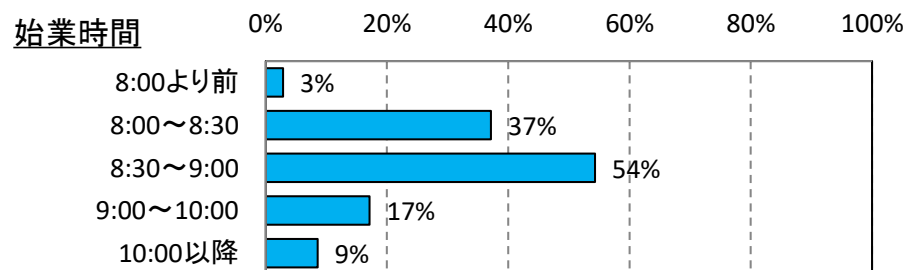
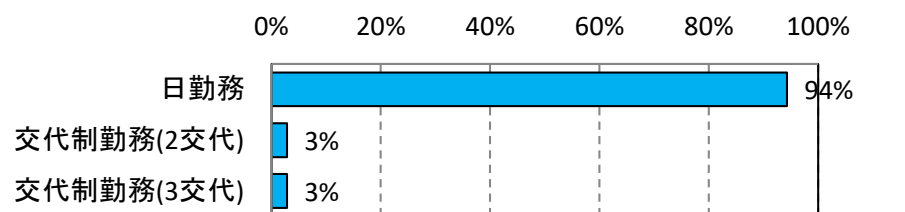


2. 事業所アンケート結果

(1) 事業所の概要

⑤勤務形態

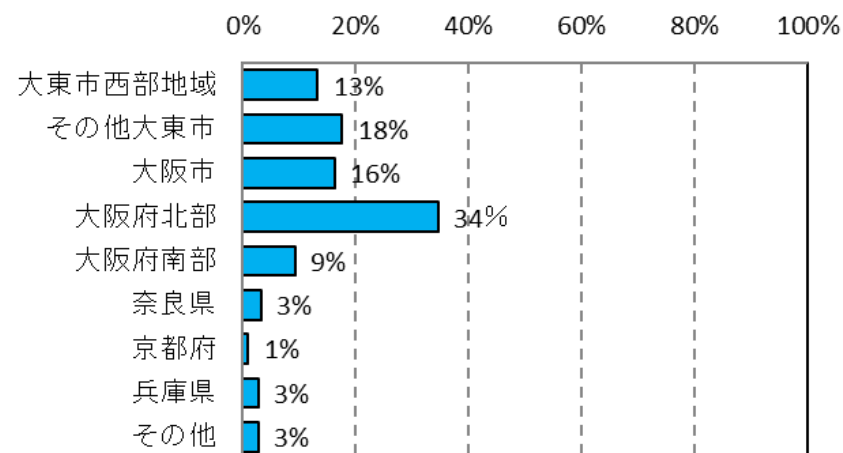
- ・ほとんどが日勤務であり、交代制勤務は2社のみである
- ・始業時間は8:00～9:00の間が多い
- ・終業時間は17:00～17:30が多い



※交代制勤務の場合、勤務時間帯は複数あるため、グラフの合計は100%を超えるものである。

⑥従業員の居住地

- ・従業員の居住地は大阪府北部が34%と最も多い
- ・約7割が大東市外から通勤している。

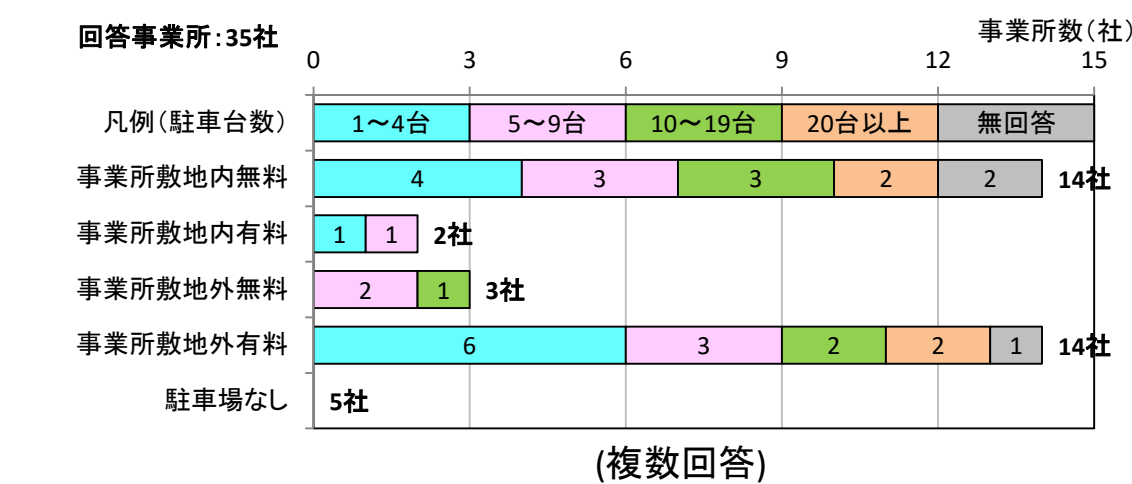


2. 事業所アンケート結果

(1) 事業所の概要

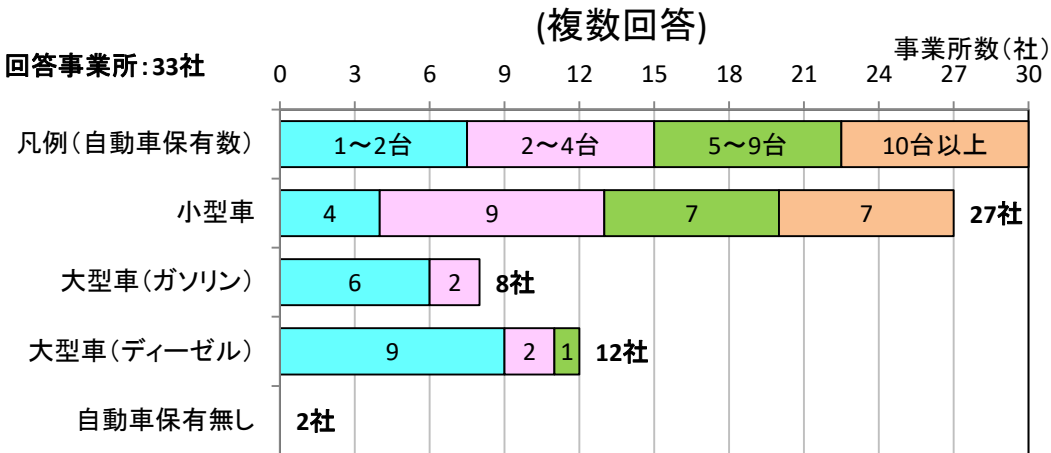
⑦ 従業員用駐車場の有無

・ほとんどの事業所が従業員用駐車場を有しており、「駐車場がない」と回答された事業所は5社に留まった。



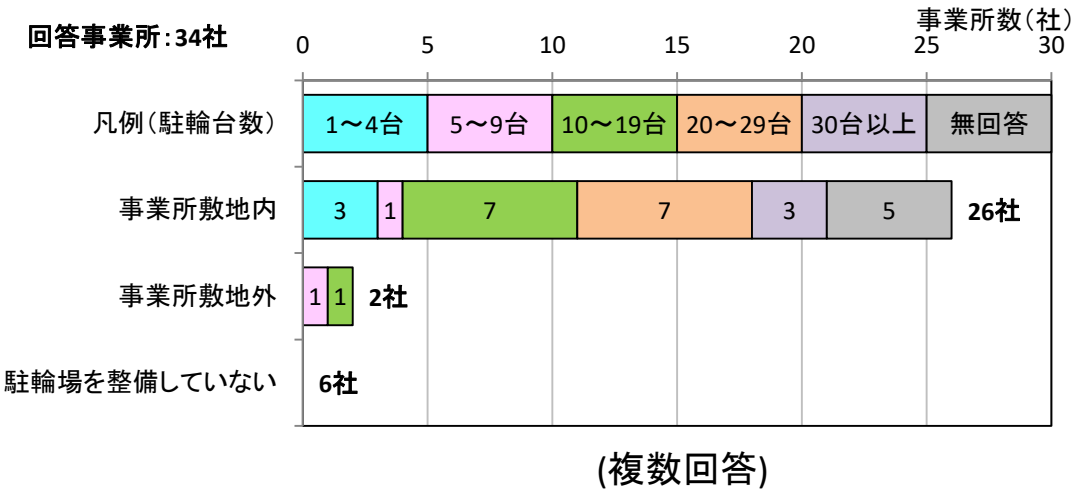
⑨ 事業所の自動車保有台数

・ほとんどの事業所が自動車を保有しており、自動車を保有していない事業所は2社に留まった



⑧ 従業員用自転車駐輪場の有無

・ほとんどの事業所敷地内に駐輪場を有しており、「駐輪場がない」と回答された事業所は6社となっている。

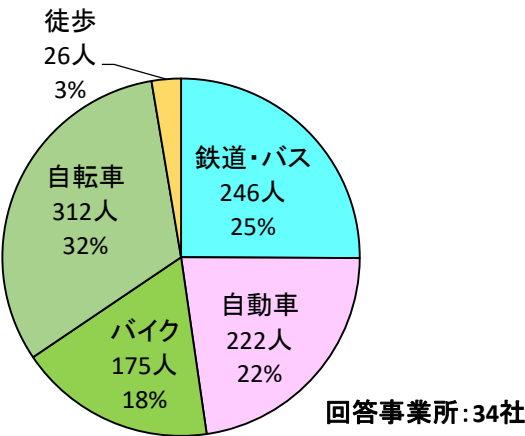


2. 事業所アンケート結果

(2) 従業員の通勤について

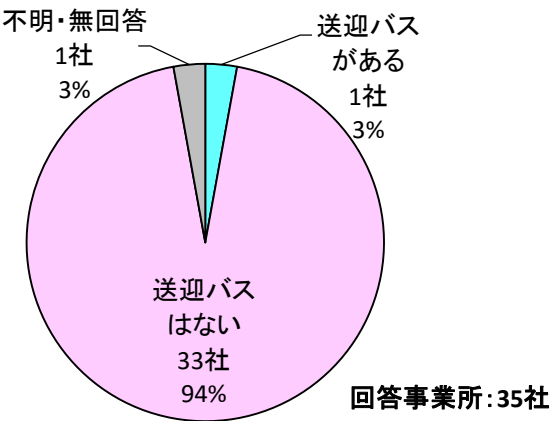
① 従業員の通勤交通手段

・従業員の通勤交通手段は、
自転車が多い



② 従業員用送迎バスの有無

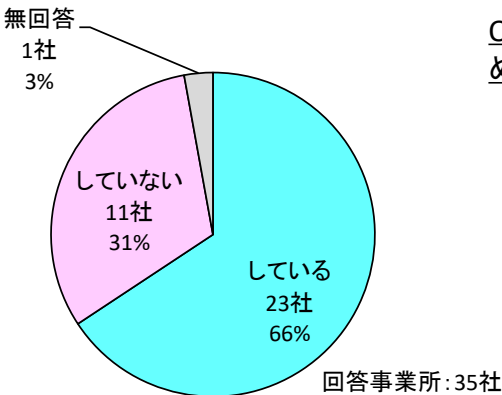
・回答事業所のうち、1社のみ送迎バスを運行されている



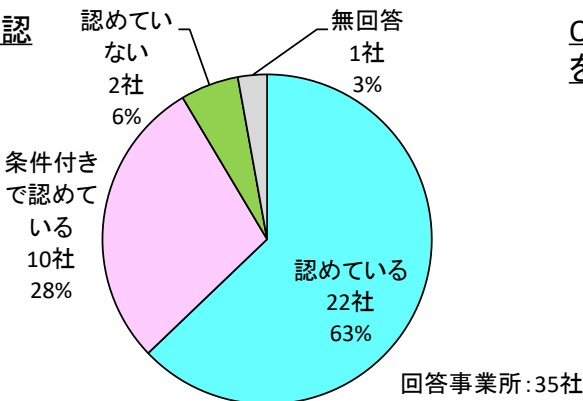
③ 通勤に関する制度

- ・通勤手段、経路を登録している事業所は66%である。
- ・マイカー通勤を認めている事業所は、「条件付きで認めている」を合わせると9割以上となり、マイカー通勤を認めていない事業所は2社に留まっている。
- ・一方で、社用車の持ち帰りを認めている事業所は「条件付きで認めている」を合わせると約3割であり、6割の事業所は社用車の持ち帰りを認めていない。

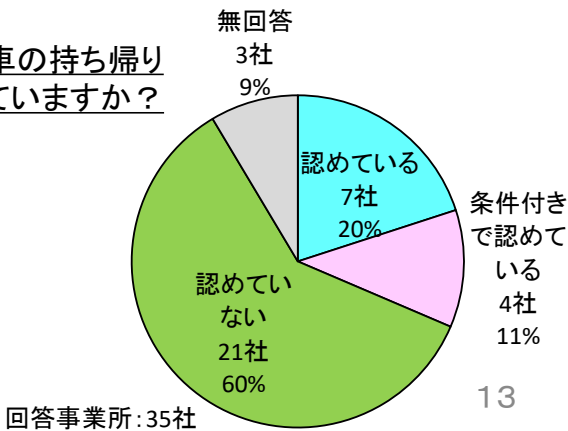
Q. 通勤手段、経路を登録していますか？



Q. マイカー通勤を認めていますか？



Q. 社用車の持ち帰りを認めていますか？



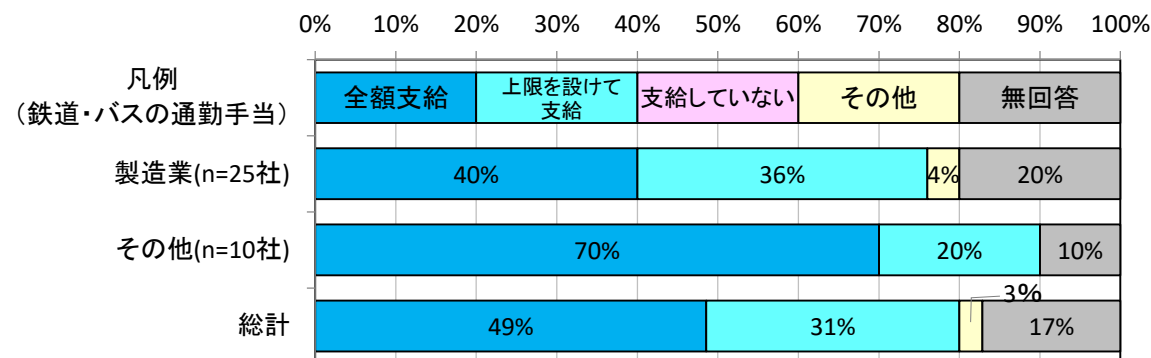
2. 事業所アンケート結果

(2) 従業員の通勤について

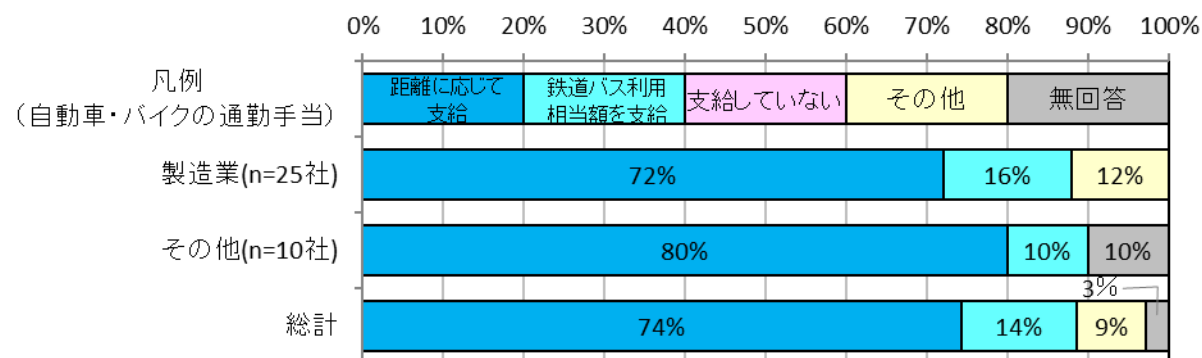
④通勤手当の支給状況

- ・「鉄道・バス」の通勤手当については、「全額支給」が49%で最も多く、次いで「上限を設けて支給」が31%となっている。
- ・「自動車・バイク」の通勤手当については、「距離に応じて支給」が74%で最も多く、次いで「鉄道バス利用相当額を支給」が14%となっている。
- ・「徒歩・自転車」については「距離に応じて支給」が31%で最も多く、支給していない事業所は20%であった。その他業種では「支給していない」割合がやや高い

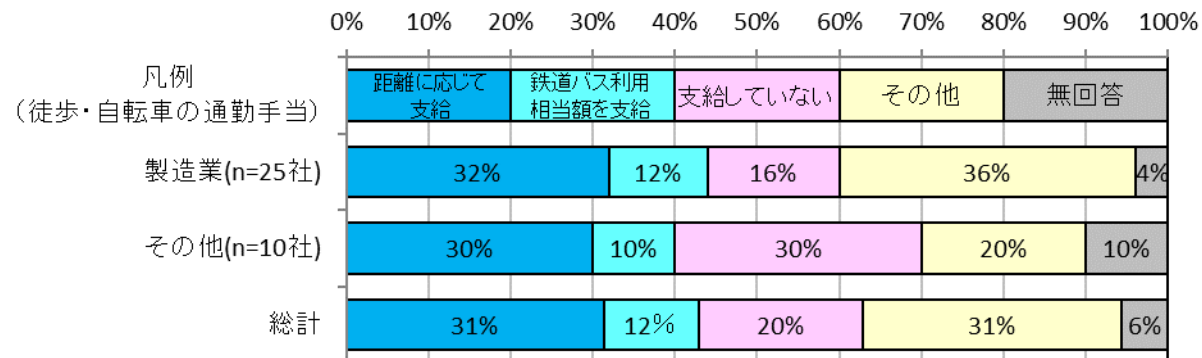
鉄道・バスの通勤手当支給状況



自動車・バイクの通勤手当支給状況



徒歩・自転車の通勤手当支給状況

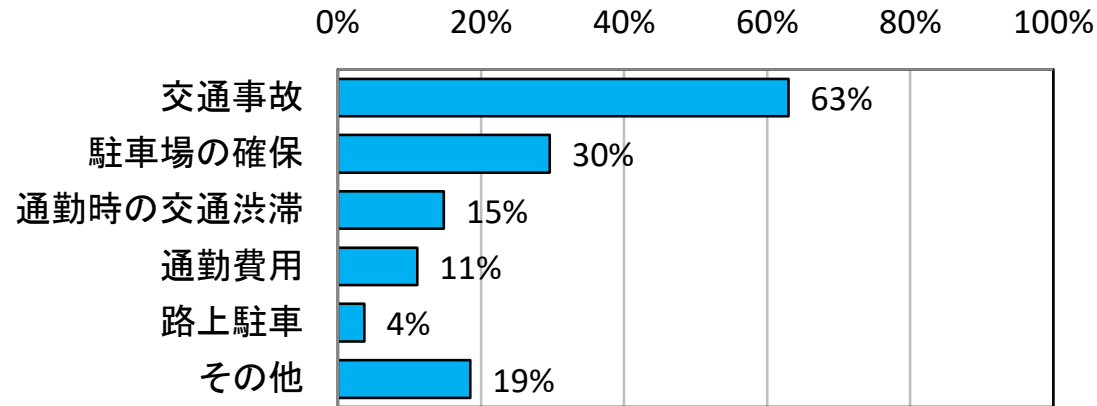


2. 事業所アンケート結果

(3) 事業所の「マイカー通勤」に対する意識

①マイカー通勤によって発生している問題点

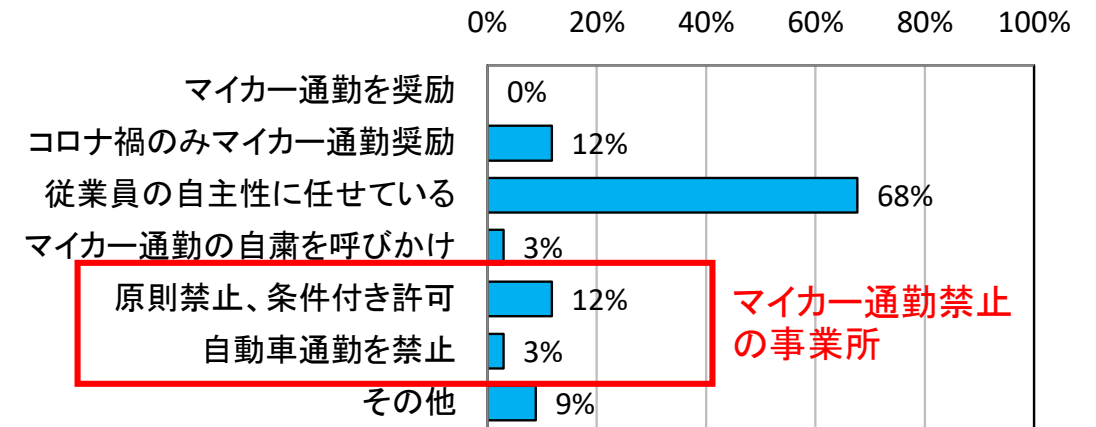
- ・マイカー通勤による「交通事故」への懸念が最も多い



(複数回答)

②マイカー通勤に対する事業所の対応

- ・ほとんどの事業所では、マイカー通勤は従業員の自主性に任せられている



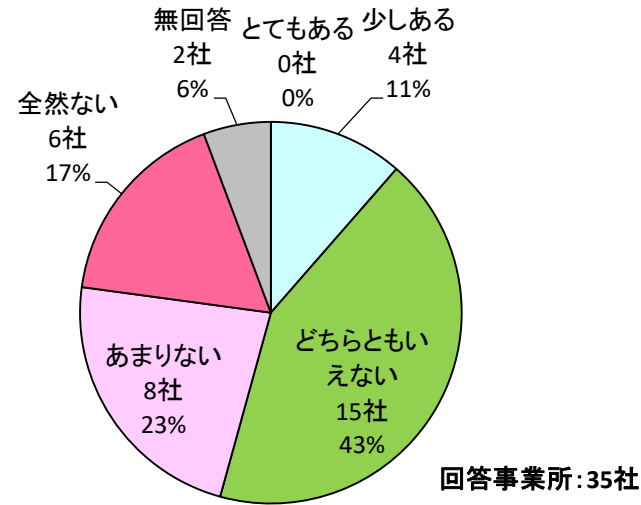
(複数回答)

2. 事業所アンケート結果

(3) 事業所の「マイカー通勤」に対する意識

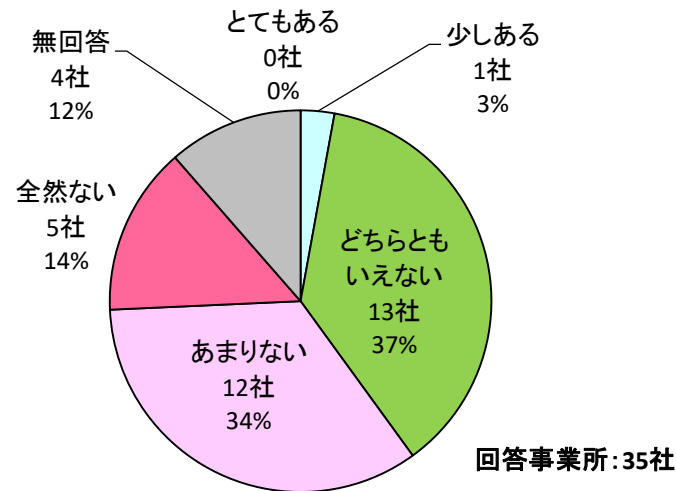
③マイカー通勤削減への関心

・半数の事業所はマイカー通勤削減には関心がない



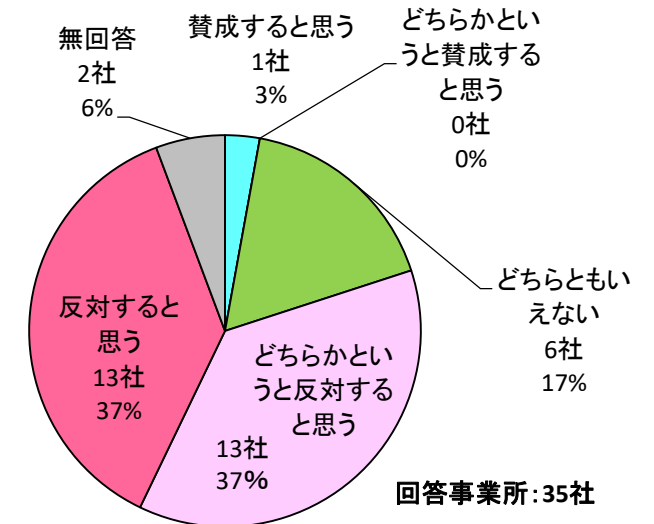
④マイカー通勤削減にむけた取組実施の可能性

・マイカー通勤削減に向けた取組を実施する意向がある事業所はほとんどない



⑤マイカー通勤抑制を実施した場合の従業員の反応

・ほとんどの事業所は従業員からの反対を懸念している

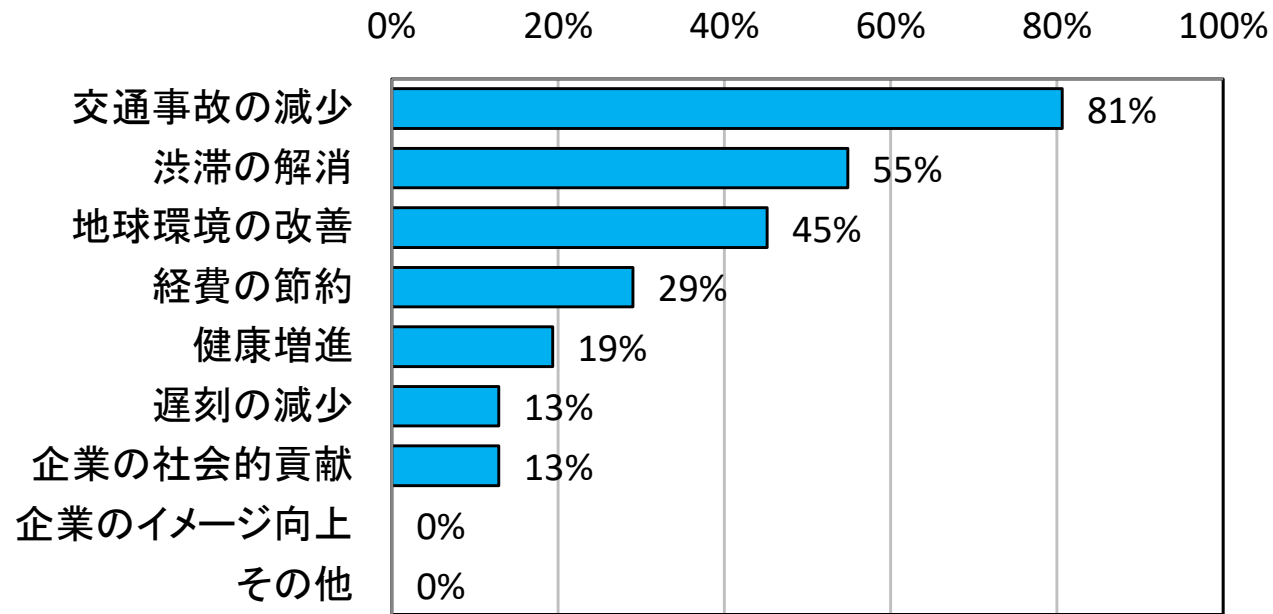


2. 事業所アンケート結果

(3) 事業所の「マイカー通勤」に対する意識

⑥マイカー通勤を抑制することによって得られると思われる効果

・マイカー通勤を抑制することによって、「交通事故の減少」「渋滞の解消」が期待されている。

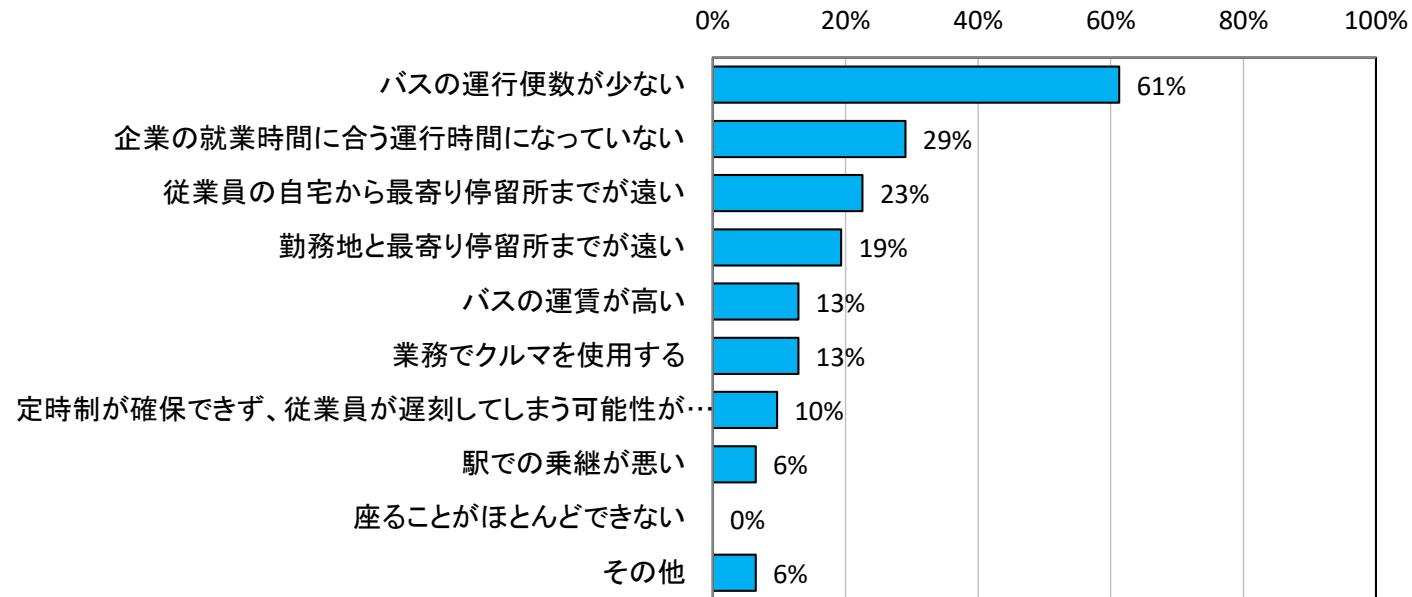


(複数回答)

2. 事業所アンケート結果

(4) 大東市の路線バス・コミュニティバスを通勤に利用する際の問題点

- ・大東市の路線バス・コミュニティバスに対しては、「バスの運行便数が少ない」とする意見が6割以上と最も多くなっている。
- ・また、「通勤に使用するには時間帯が合わない」といった意見も多い



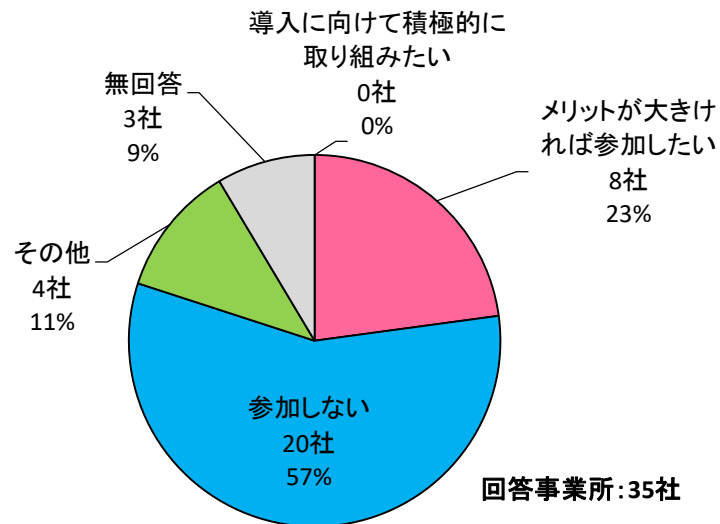
(複数回答)

2. 事業所アンケート結果

(5) 送迎バスの共同運行について

① 送迎バスの共同運行についての考え

- ・8社から「メリットが大きければ参加したい」との回答があった

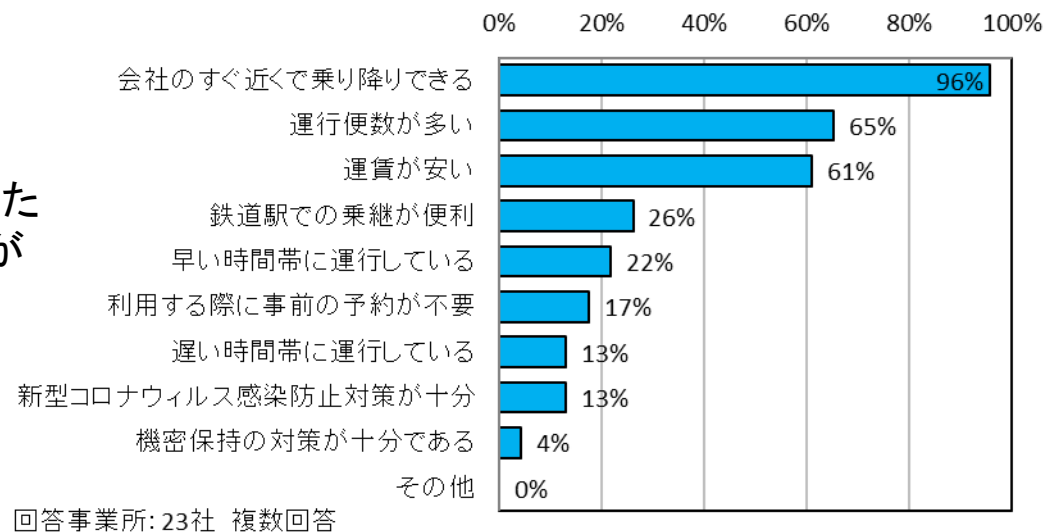
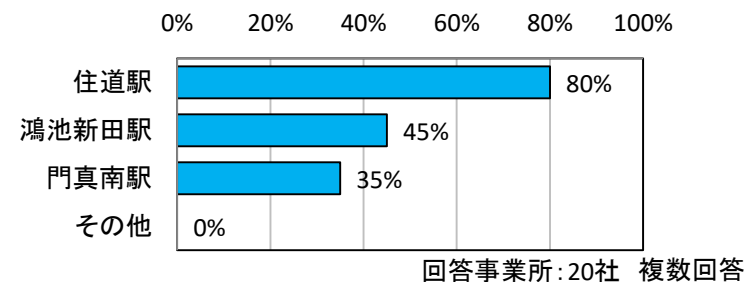


③ 送迎バスの共同運行に際して重視する条件

- ・「会社のすぐ近くで乗り降りできる」「運行便数が多い」といった利便性、「運賃が安い」といったサービス水準を挙げる意見が多い。

② 希望する発着駅

- ・住道駅が8割と最も多いが、鴻池新田駅、門真南駅を希望する事業所もある

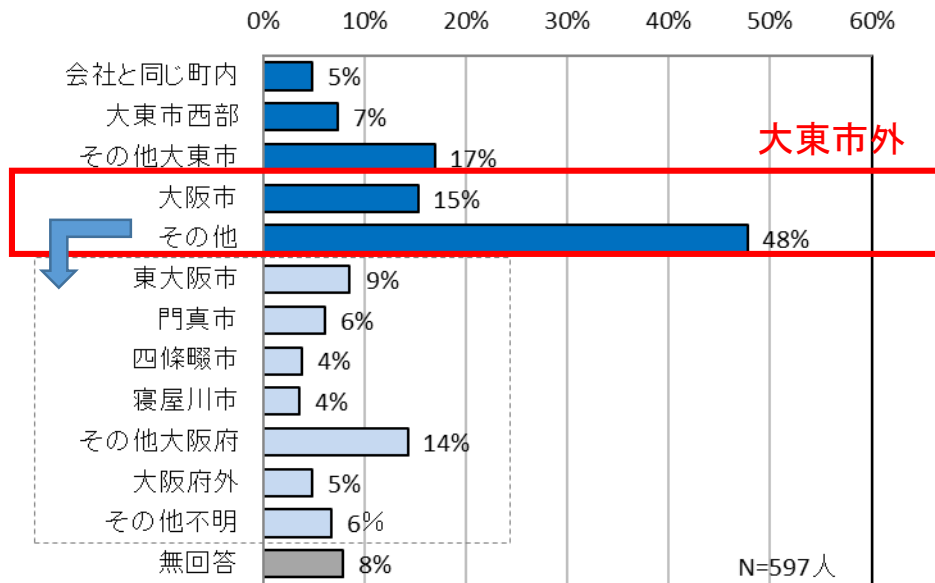


3. 従業員アンケート結果

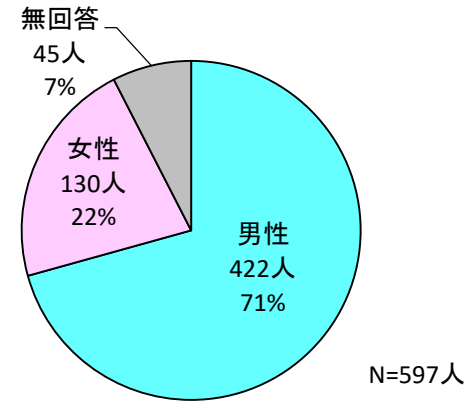
(1) 従業員(回答者)の個人属性

① 居住地

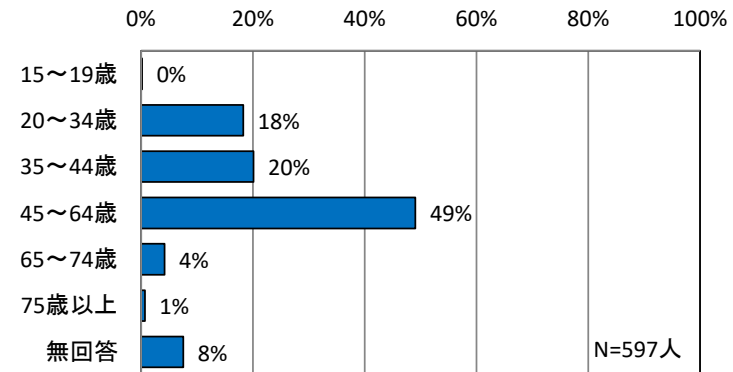
・約6割が大東市外からの通勤である



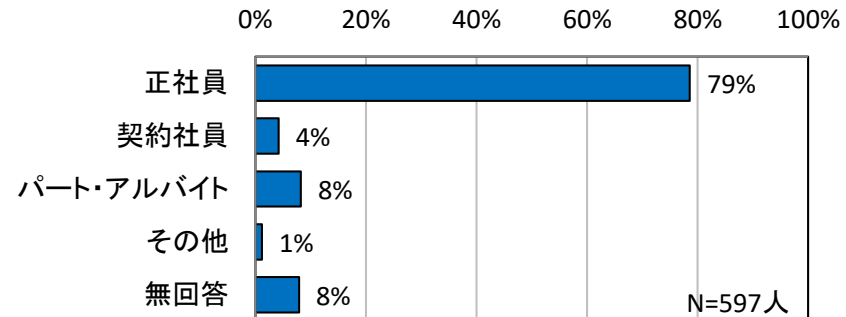
② 性別



③ 年齢



④ 雇用形態



3. 従業員アンケート結果

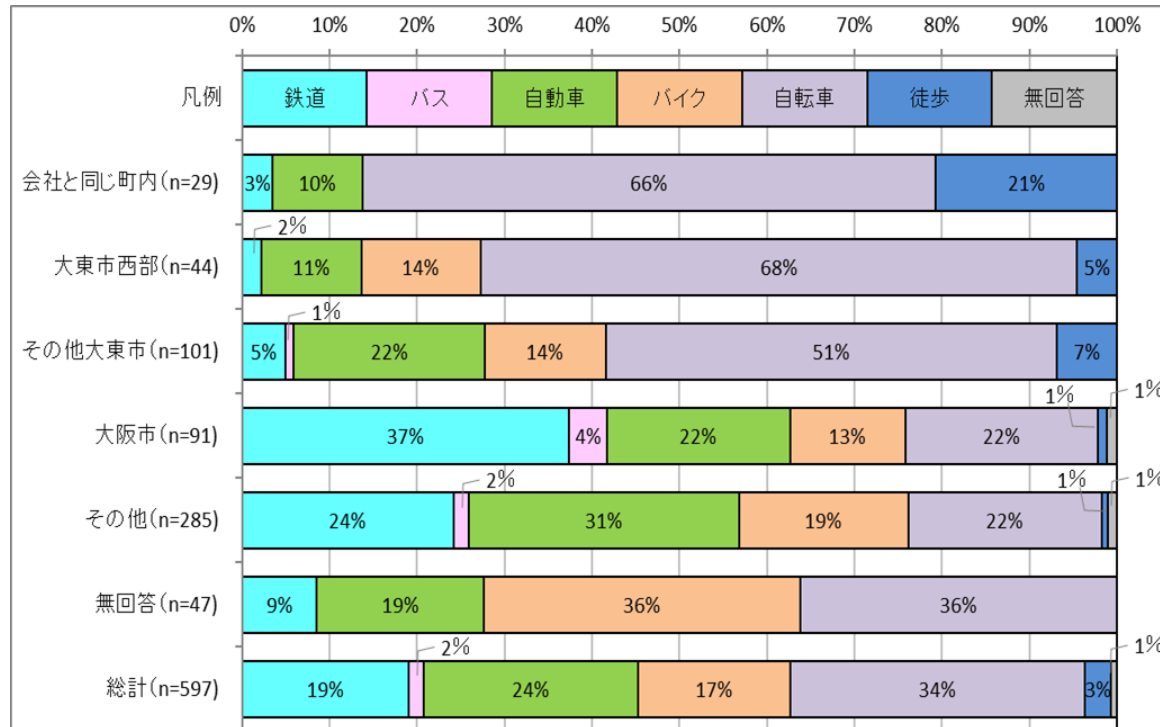
(2) 従業員の通勤状況

① 通勤手段

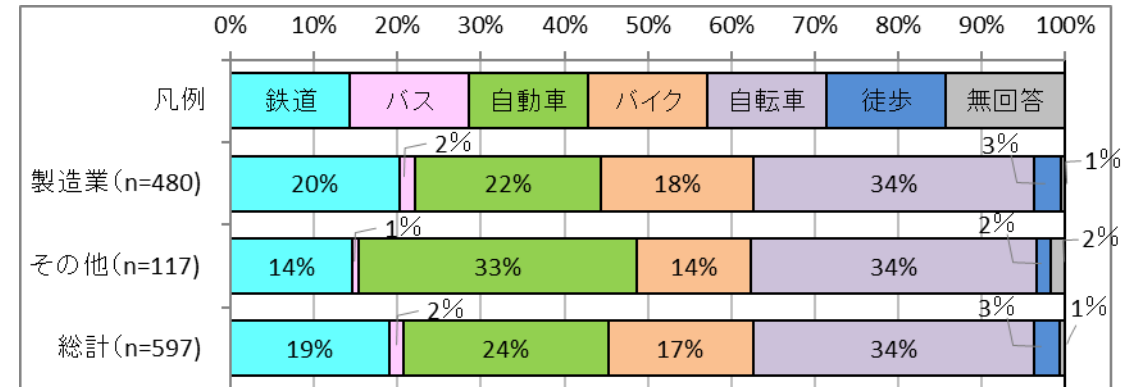
- ・市内からの通勤は自転車の割合が非常に高い
- ・大阪市からは鉄道で通勤される方が多い
- ・その他の地域からは自動車の割合が高い

- ・その他の業種では、製造業と比較して自動車通勤の割合が高くなっている

通勤手段×居住地



通勤手段×業種

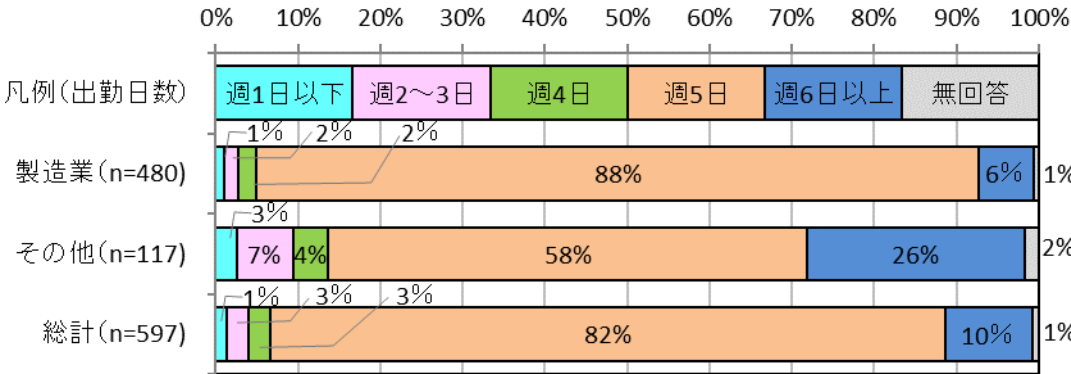


3. 従業員アンケート結果

(2) 従業員の通勤状況

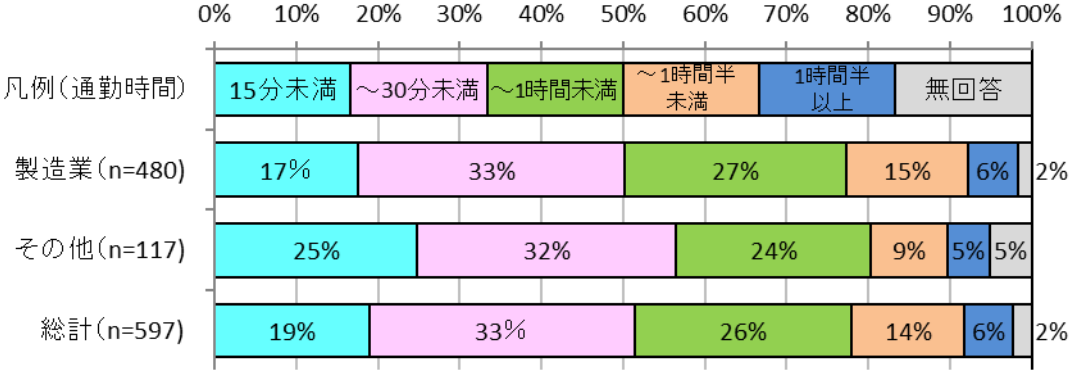
②出勤日数

- ・製造業は約9割が週5日出勤である
- ・その他業種では週6日以上出勤もやや高くなっている。



③通勤時間

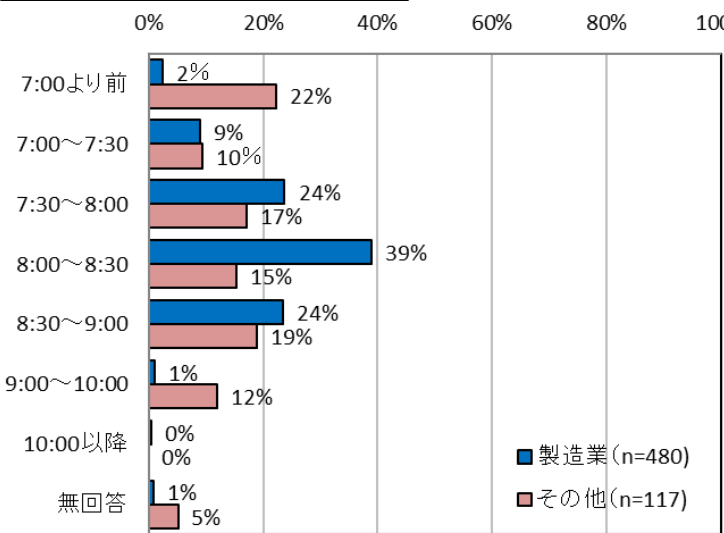
- ・通勤時間は、約半数が30分以内となっている。



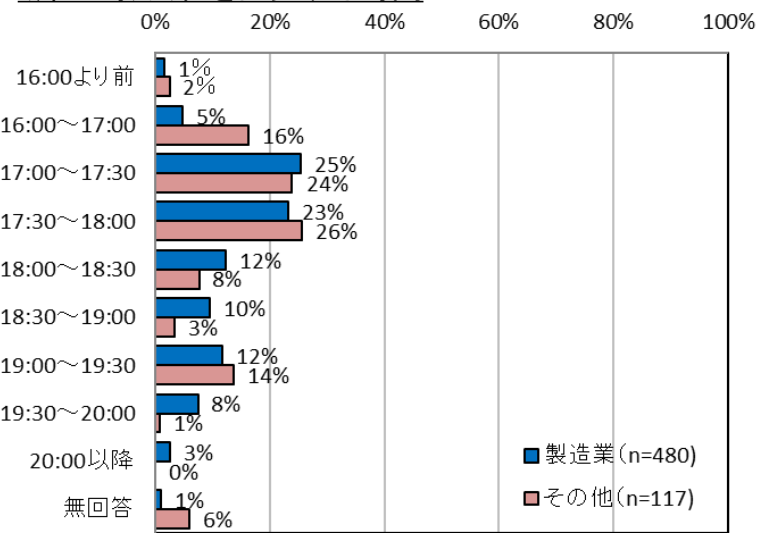
④出勤時間帯

- ・出勤時間は、製造業は7:30~9:00の間に集中しているが、その他業種では出勤時間のばらつきが大きい
- ・帰宅時間は17:00~18:00が多い

(出勤時) 会社に着く時間



(帰宅時) 会社を出発する時間



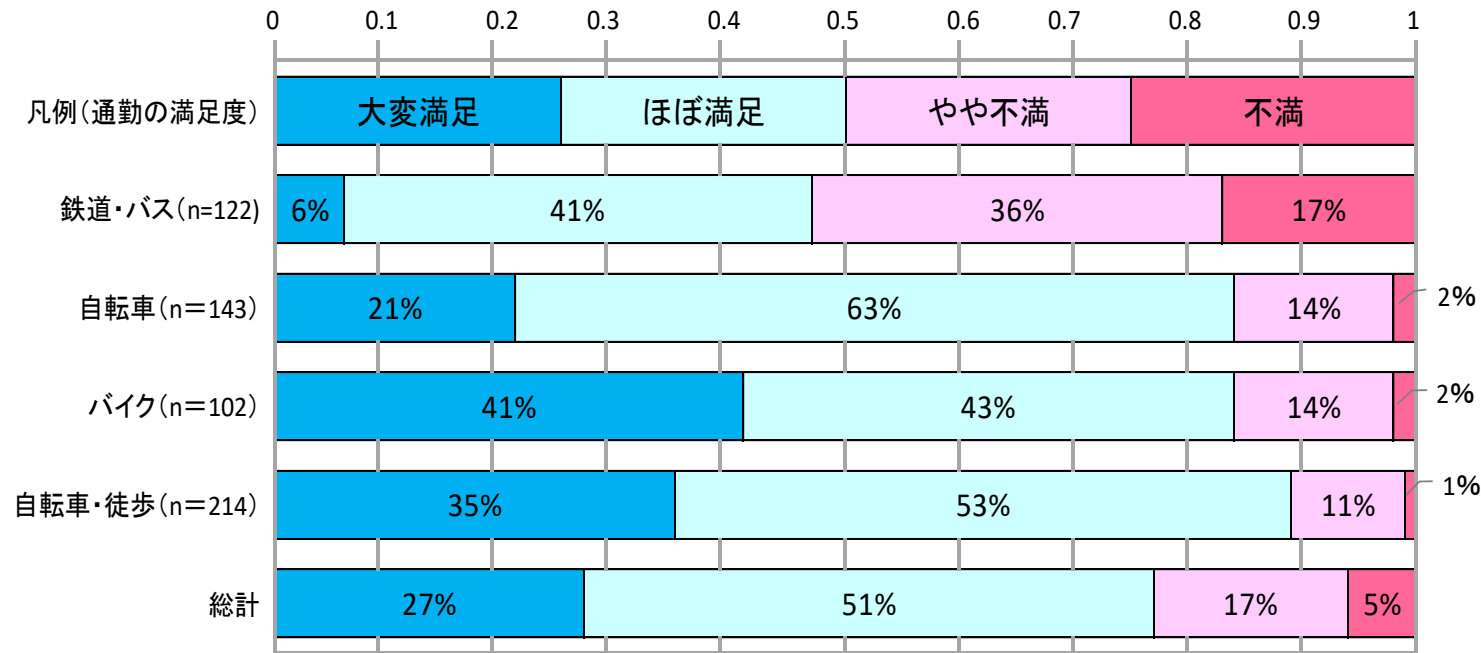
3. 従業員アンケート結果

(2) 従業員の通勤状況

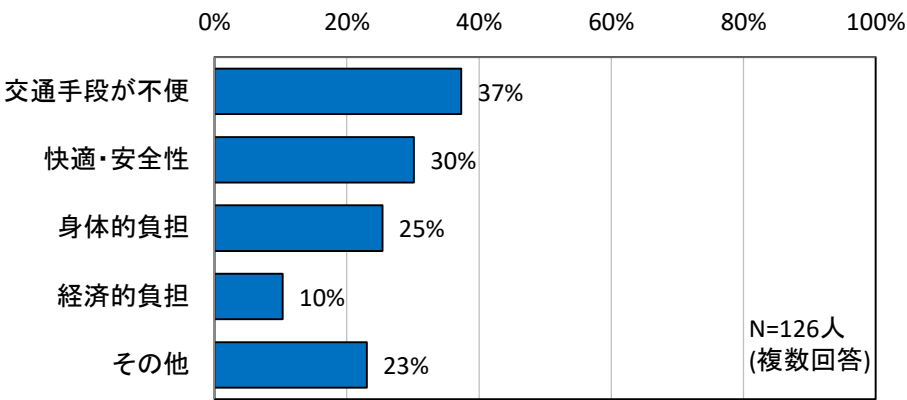
⑤通勤の満足度

- ・8割近くが「満足」(大変満足/ほぼ満足)と回答されたが、2割の方は「不満」(不満/やや不満)となっている。
- ・特に鉄道・バスで通勤している方は半数以上が「不満」(不満/やや不満)と回答
- ・不満の内容としては、「交通手段が不便」と回答される割合が高い

通勤手段別満足度



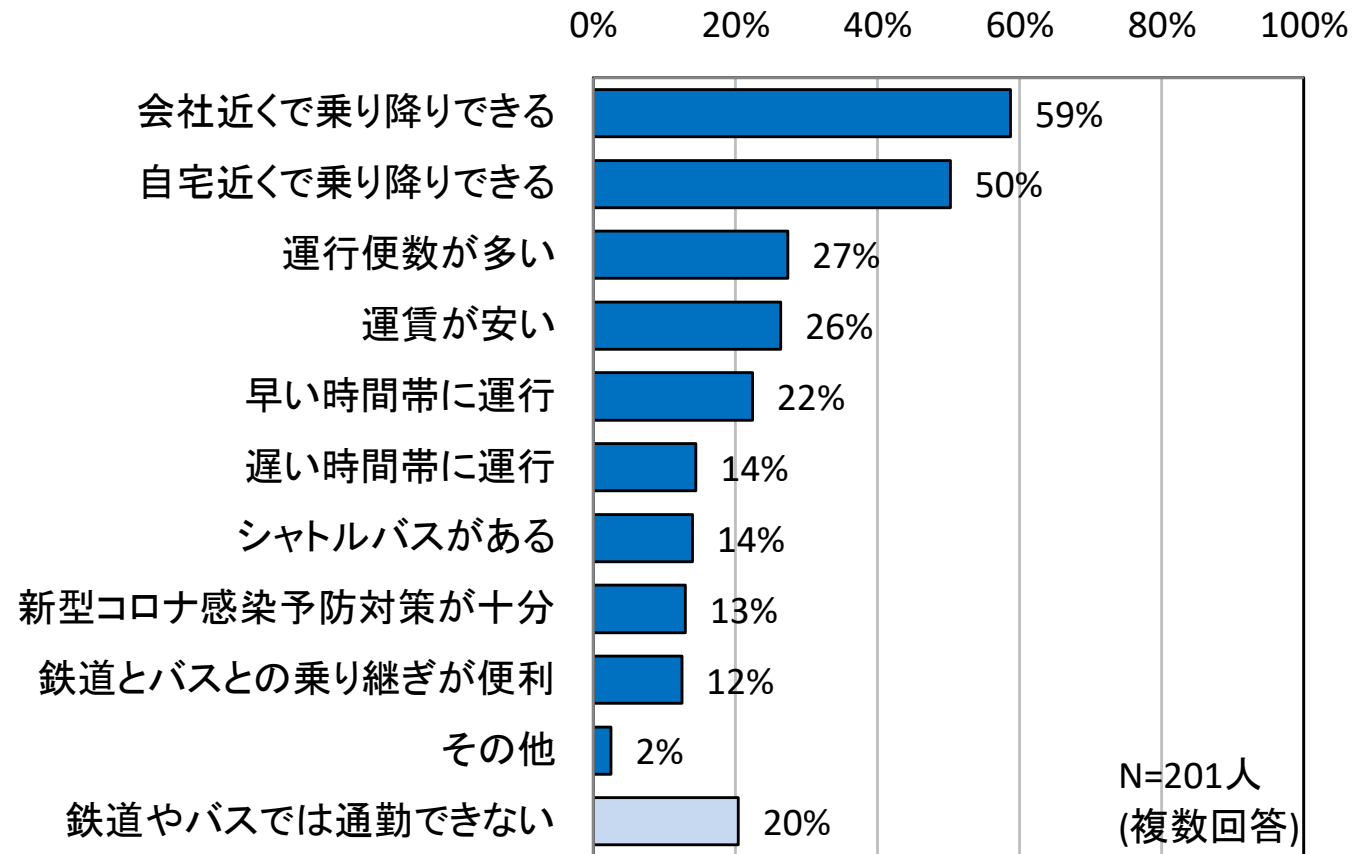
不満の内容



3. 従業員アンケート結果

(3) 公共交通で通勤する場合の条件

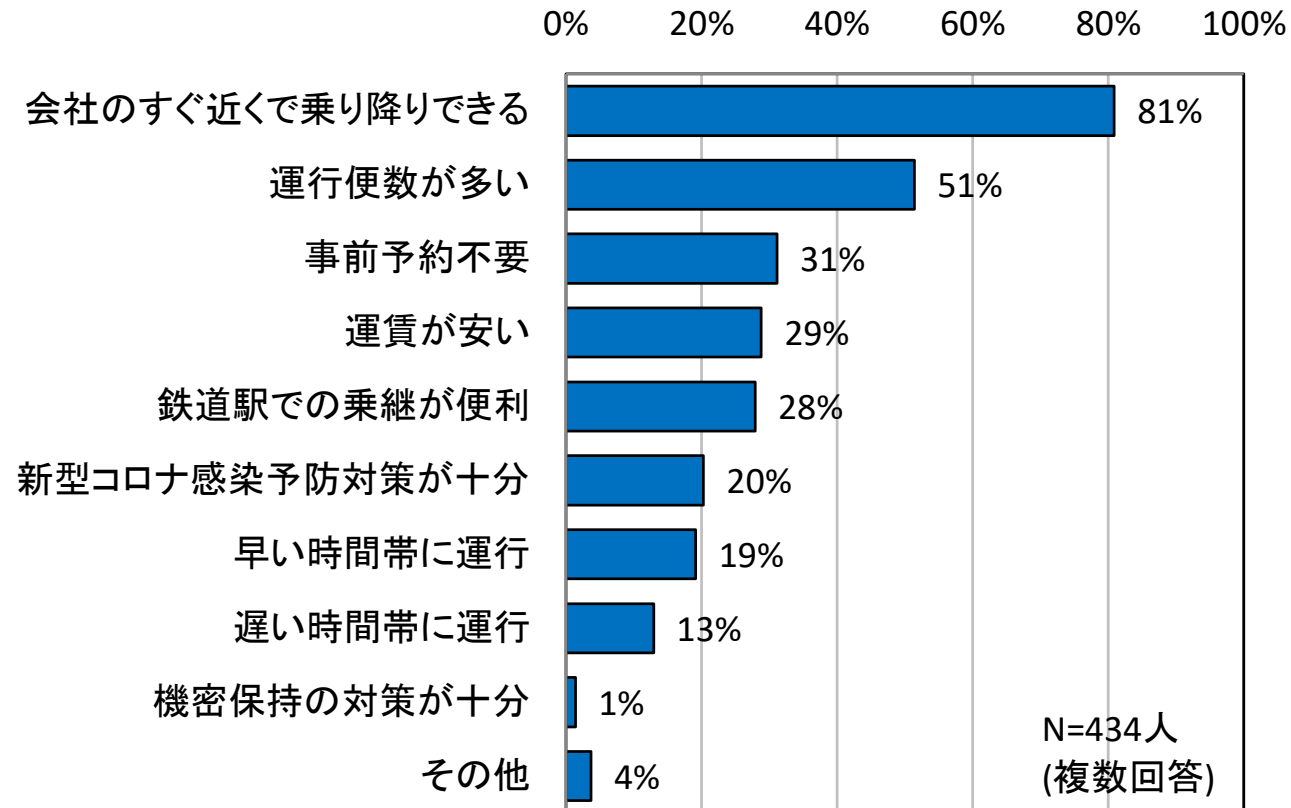
- ・公共交通に求める条件としては、「会社や自宅近くで乗り降りできる」といった利便性を求める意見が多い



3. 従業員アンケート結果

(4) 送迎バスの共同運行について

・公共交通に求める条件と同様に、送迎バスについても「会社近くで乗り降りできる」「運行便数が多い」といった利便性を求める意見が多い



3. 従業員アンケート結果

(5) 自由意見

- ・48名の方から大東市の公共交通について具体的な意見・要望をいただいた
- ・コミュニティバスへの利便性や、具体的なルートを挙げての要求が多い

分類	意見	回答者数
公共交通への意見・要望	本数が少ない/増便希望	12
	具体的なルートの希望	12
	不便/利用できる公共交通がない	5
	利用したことがない	4
	運行時間の拡大	4
	運賃を安くしてほしい	3
	乗車時間の短縮	3
	もっとPRを/運行情報がわかりにくい	3
	コミュニティバスは便利	2
	電子決済可能にしてほしい	1
	近鉄バスとの連携	1
その他	渋滞緩和対策が必要	2
	その他	4

※複数回答